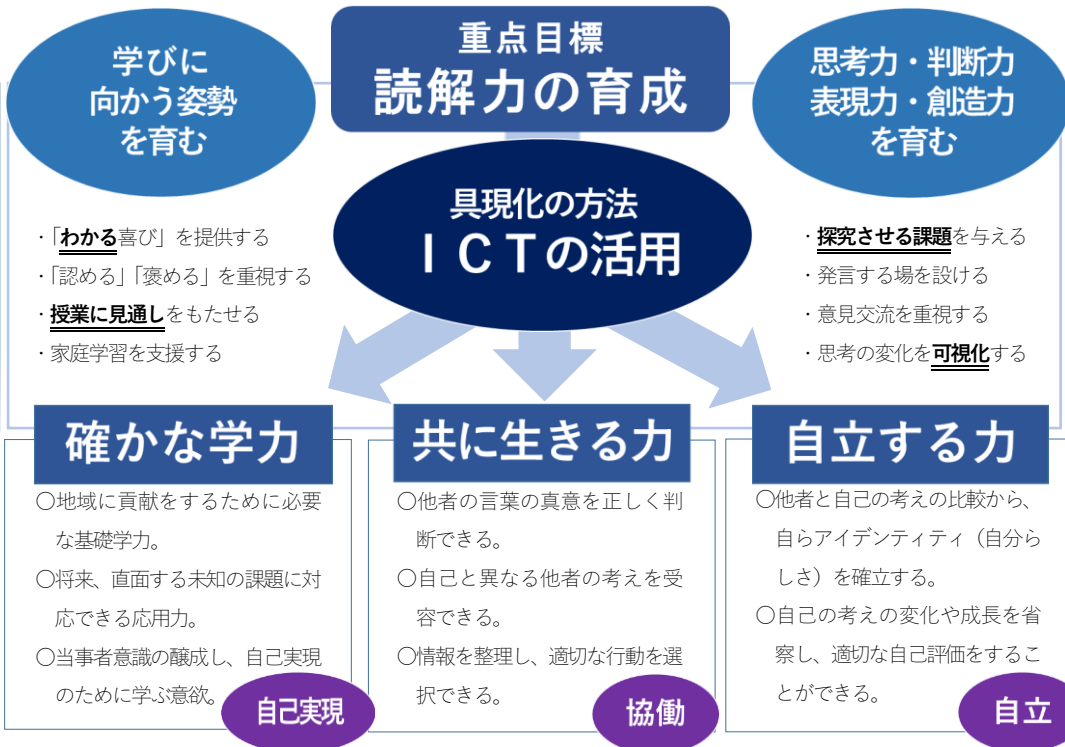




令和5年度 岐阜県立郡上北高等学校 研究推進委員会 研究構想図

教科指導の重点 連携型中高一貫教育の目標

ICT導入の効果



地域に貢献できる汎用的な能力を育む よき地域社会人の育成（不撓不屈の郡上人）

上記に示した汎用的な力はふるさと教育においても重要

ふるさと教育

小・中学校で学んだ、地域を「見る」「知る」「調べる」「考える」をベースに、ふるさととの活性化に向けた課題解決型学習に取り組む。

第3次 教育ビジョン

- ・読解力育成に向けて、各教科でどのような取り組みを実施しているかを知ることができ、授業改善の材料となる。
- ・日常の話題が授業のことで、普段の授業における困難さを他の教員と共有することができる。

- ・小・中学校の教員と交流することで指導方法の共有が可能となり、高等学校での指導方法を検討する情報になる。
- ・小・中学校におけるふるさと教育の実践を知ることで12か年の「系統的な総合的な探究の時間」を模索できる。

研究推進委員会 企画・運営

9・12月

郡上北高校型授業研究会 「協働態勢づくり」 コンパクト授業研究会

小・中学校教員との交流 「指導法の共有」 異校種との授業研究

具体的な 取り組み

① ICTを活用し、情報活用・課題解決能力を育成する

- ・タブレットを活用し、情報の収集と選択ならびに活用して課題に取り組む場面を設ける。
- ・タブレット・プロジェクタを活用し、思考を発表・共有して学び合う機会を設ける。

② 答えのない課題を与え、意見を交流する授業の実施

- ・各教科で得た知識・技術を教科横断的に活用する場面を設ける。
- ・生徒が「探究」できる場面を設け、生徒間で考えを「交流」させる。
- ・生徒が協働的に最適解を導けるよう、授業進行のファシリテーターとして支援を行う。

③ 生徒自身が成果を感じられるポートフォリオの作成

- ・生徒に対して課題を提示し、本時に何を学ぶのかを明示する。
- ・生徒の省察（リフレクション）を重視し、変化を記録できるポートフォリオを導入する。
- ・授業のゴールをルーブリック等で具体的に示すことで見通しと達成感を与える。

連携中学校の 取り組み